



MEDICAL OFFICE

医療の最前線からのワンポイントアドバイス

薬学部教授・病院薬剤部長

もちづきまゆみ
望月眞弓

慶應が始める新しい薬剤師教育と病院薬学講座の設置

本年（2017年）1月より、薬学部
に病院薬学講座ができました。この講座
の特徴は病院薬剤部の実務を講座の教員
が兼務する点にあります。3名の教員の
うち、教授は薬剤部長、准教授は医薬品
安全管理担当者として病院実務を兼務し、
残る1名は病院薬剤部の薬剤師が薬学部
の教員として本年4月より学部の教育・
研究に携わります。

思い起こせば2008年の慶應義塾と
共立薬科大学の合併により薬学部が誕生
して、9年が経ちました。薬学部は、医
学部、看護医療学部との医療系三学部合
同教育、がんプロフェッショナル養成基
盤推進プラン、革新的医療技術創出拠点
プロジェクトなどを通じて、医療系三学
部を中心に学部間の交流を深めてまいり
ました。2018年に完成予定の新病院

棟では、三学部合同臨床実習を実現すべ
くトライアルも行われています。

現在病院では、医療人養成教育の中で
特に重要な実務実習が行われています。

薬学生は11週間にわたって病院薬剤部と
病棟で実習を行います。その間の学生指
導は、薬剤部の薬剤師が中心となって受
け持ちます。医学部の教員は病院で診療
をしながら医学生を教育されています。

薬学部の教員も医療現場に立つ教員がい
るべきであることは薬系大学関係者の一
致した見解です。そこで薬学部では、
2014年に病院の協力を得て臨床系教
員のOJT (on the job training) を開始
しました。このOJTは他大学にはない
慶應義塾に特徴的なプログラムです。
OJTをきっかけに薬学部と病院薬剤部
との関係はより緊密になり、教育面のみ

ならず研究面でも強い協力関係が構築さ
れてきました。そして満を持して提案さ
れたのが、2015年秋の薬剤部長を薬
学部からという病院からのオファーでし
た。これにより、薬学部と病院との関係
はさらに深まり、本年1月の病院薬学講
座の発足に至りました。

他の薬学部の講座と病院薬学講座の違
いは、実務を兼務する点にあります。こ
れにより、病院業務の支援に繋がること
はもとより、薬学部にとっても医療人と
しての薬学生の育成を充実させることに
繋がると期待されています。さらに、1
名の病院薬剤師の教員枠はローテーショ
ン制として病院薬剤師のキャリア研修の
一環としても機能させる予定です。この
仕組みから病院薬剤師の先導者を輩出す
ることも目標としています。